

平成26年度

施政

方針



はじめに

市民の皆様方が、より住みやすく感じ、希望を持てる環境づくりのため、未来への投資や、身近な課題に対しての取り組みなど、優先順位を見極め、誠実に着実に、事務事業を遂行してまいります。

知立市政の大方針を定めた第5次知立市総合計画は、2014年をもって区切りとなります。この計画が目指すところは、『輝くまち みんなの知立』です。知立に住む、集う、全ての方々が様々な立場や形でまちづくりにご参加いただくことで、知立は眩い輝きを放っていくものと確信をしております、様々な場面で着実にその芽が出てきているところであります。



知立市長 林 郁夫

■市民参加のまちづくり
昨年、「1日まちのふれあい科学館」が市民団体「ナスモル知立」により開催されました。市民発のゆるキャラ「あんまき姫」「こぼたん」も様々な行事に引っ張りだこです。本年は、全国山・鉾・屋台保存連合会の総会が開催されます。市民の皆様からなる実行委員会とともに取り組んでいきます。

■安全で安心できるまちづくり
防犯対策として民間駐車場の防犯カメラ設置補助や防犯関連物品購入補助を継続し、交通安全対策として路側帯などの明瞭化、ゾーン30の設定なども考えていきます。

■防災対策では、家屋の耐震化や家具転倒防止器具の取り付け、防災ラジオの整備等を引き続き行います。また、地域の各自主防災会活性化のため支援を行っていきます。

伊那市、鯉江市、魚津市、下呂市、能美市、栗東市の6市と防災協定を結ばせていただきました。6市市長さんにお声掛けし、5月には防災シンポジウムの開催を予定しています。市民の皆様にも、交流を深めるお付き合いをよろしく願います。

■子育て支援に関する取り組み
4年生までの35人学級、きめ細かな教育を行うための教員配置に加え、子どもサポート教員を小中学校全校に配置します。

特色のある学校づくりのため『魅

力ある学校設計事業』を推進し、学校施設整備基金の積立、南中学校の校舎改修工事を行っていきます。また、来年度の供用開始を目指し、療育の機能を有する(仮称)知立市中央子育て支援センターを建設します。

■福祉への取り組み
障がい者計画の策定や相談窓口の充実化を図り、障がい者の人々が気軽に集まれるサロンの開設を推進します。

■高齢者の人には就業支援や社会参加活動などの推進、高齢者福祉サービスの提供、介護保険制度の確かな運営などを行います。

■環境に関する取り組み
ふん公害撲滅のためイエローカード作戦を展開し、不法投棄多発箇所へ監視カメラの増設を図ります。また、身近な場所へのミニごみステーションの設置について試行します。廃棄物対策、環境保全に取り組み他、太陽光発電設備設置のため、補助や屋根貸し事業を実施していきます。

■健康に関する取り組み
妊産婦・乳児検診事業、特定年齢がん検診推進事業、インフルエンザ予防接種事業、高齢者肺炎球菌ワクチン接種事業等を継続します。

また、糖尿病予防事業を行う他、こころの病の予防として、市ホームページにメンタルチェックシステム「こころの体温計」を導入します。

■まちの活力づくり
現在、100年に一度のまちづくりとして、知立駅の高架事業、街路事業や土地区画整理事業、再開発事業など、知立駅周辺整備事業を推進してまいります。今後も定住人口、交流人口を増大させるべく進めていきます。また、市民みんなで中小企業を応援する中小企業振興条例を策定しました。従来の商工業に、観光事業なども絡み合わせながら、まちの賑わいづくりを推進します。

■より効率的、効果的な行政運営
刈谷市・高浜市・東浦町と衣浦定住自立圏を形成し、病診連携システムを稼働させました。様々な枠組みの中で他自治体と連携しながら行政施策を推進します。

■国の補助金や交付金などは、情報を的確に把握し、各種事業に充当していくよう取り組む他、税以外の財源確保にも努め、企業誘致についても働きかけを行います。また、より効率的な公共施設配置を検討し、公共施設白書を策定していきます。

■おわりに
行政改革の不断の実行や情報公開を行い、市民の皆様信頼感を持っていただける行政運営を心がけ、諸施策を推進します。

※市ホームページの「市長応接室」に全文を掲載しています。